

令和2年度9月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会議事録

日 時： 令和2年9月5日（土）15：00～18：00

開催方式： Zoom 使用によるリモート会議

会長： 長谷川利雄 会長代行： 藤本啓治

副会長： 小林正之 白木隆士 木下裕介 堀口泰輔

理事： 明石健一 上野憲司 榎本 誠 大窪 博 大成浩征 荻野 晃 片岡英一郎

貴島浩二 岸本成人 岸本英樹 小坂理也 古瀬洋一 清水広太 神藤佳孝

調子和則 中川浩彰 中野晋吾 邊見俊一 前中孝文 増田 博 宮口正継

宮崎 浩 宮島茂夫 宮田重樹 森下 忍 森本清一 山口眞一 山本善哉

山本 哲 梁 裕昭 吉村弘治 和田孝彦

監事： 栗本一孝 黒田晃司 松矢浩司

理事会・常任理事会オブザーバー： 右近良治

特別出席者： 石井正治 早石雅宥（敬称略）

[前回議事録の承認]

中野理事

令和2年6月13日のOCOA理事会議事録が資料提示され、承認された。

[協議事項]

1、研修会予定

堀口副会長

先の試験的WEB研修会実施での問題点を改善し、今後のWEB研修会に活かしたい。

以下の研修会予定（演者および座長）が承認された。

第1回大阪臨床整形外科医会WEB研修会

（令和2年9月19日 WEB研修会）共催 エーザイ

第333回研修会（令和2年9月26日 WEB研修会）共催 第一三共

第334回研修会（令和2年10月17日 WEB研修会）共催 帝人

第335回研修会（令和2年11月14日 WEB研修会）共催 久光

次の会において、演者と座長が決定、承認された。

特別研修会（令和2年12月26日 WEB研修会）共催 大正製薬

演者： 大阪大学整形外科 海渡 貴司 先生 座長 右近良治先生

演者（予定）： 京都府立大学整形外科 高橋 謙治 先生 座長 宮田重樹先生

2021年 令和3年

1月 16日 (土) 日本臓器 ホテルグランヴィア大阪 対面開催を検討中

演者: (未定) 座長 貴島浩二 先生

演者: 大阪市立大学整形外科 箕田行秀 先生 座長 宮口正継 先生

以後の予定として、以下の通り計画されている (アンダーラインは今回承認)

2月 20日 (土) 科研製薬 ホテルグランヴィア大阪

3月 27日 (土) 中外製薬 ANA クラウンプラザホテル大阪

4月 3日 (土) アッヴィ合同会社 WEB 研修会

4月 10日 (土) 大正製薬 ANA クラウンプラザホテル大阪

5月 15日 (土) ツムラ ANA クラウンプラザホテル大阪 又は WEB 研修会

6月 12日 (土) あゆみ製薬 ヴィアーレ大阪 又は WEB 研修会

6月 19日 (土) 小野薬品 リーガロイヤルホテル大阪 19日で決定

5月 29日 (土) エーザイ グランヴィア大阪

7月 10日 (土) 大塚製薬 ANA クラウンホテル大阪

7月 24日 (土) ファイザー ANA クラウンプラザホテル大阪

8月 21日 (土) 旭化成 ANA クラウンプラザホテル大阪

※ 森下理事より、座長が種々研修単位を申請するに当たり受講の研修ログをどのようにとるのか、との質問があった。神藤理事より、開催者側である座長が E-test をうけて単位申請できるか、受講ログとあわせて問い合わせの上で検討する事、となった。

2、メール広告に関する業務委託契約書

長谷川会長

メーカー (エーザイ) のデジタルコンテンツを OCOA が会員にメール配信することにより広告収入を得る契約について、司法書士を通しての業務委託契約書 (案) が呈示された。契約内容についての審議がなされ、本理事会において承認された。

3、令和2年度秋季 OCOA ゴルフコンペ (11/3) 開催について 宮崎理事

新型コロナの状況が予測困難な中、11月 3日 (祝/火) の OCOA ゴルフコンペ開催についての審議が行われ、今回は中止と決定された。

4、F ネット契約について

宮崎理事

FAX 一斉同報サービスの F ネットについて、株式会社ネクスウェイより 新しい契約の提案があり、審議が行われた。

新契約名 : NEXLINX は、現在の契約と比べ、FAX 送信料金 (1 件) 平日 1 円の増額となるものの基本使用料金が無料となり、また PC からの送信 (Excel 会員名簿など) が可能となる事など、新しい契約のメリットは大きいと判断され、理事会にて承認された。

5、各務文献法要残余金について

木下副会長

各務文献 200 回忌法要の際に有志から募った記念碑の費用等の残余金 348.207 円の取り扱いについて、今井秀先生の依頼で木下副会長より以下の案が提示され審議がなされた。

「残余金 348.207 円を OCOA の会計に組み込み、毎年法要について上限 50,000 円を限度に助成。50,000 円以上の経費がかかる場合は別途予算審議を行う。支払いについては、一旦今井先生に立て替えて頂き後日会計担当に請求しもらい精算する。」

上記提案は承認され、組み込まれた 348,207 円の科目等については顧問税理士の意見を伺い次回常任理事会での継続審議となつた。

6、Web 研修会におけるアナライザー費用として支払われる座長謝金について

木下副会長

WEB研修会でのアナライザーシステムの使用に際し、1研修会あたり約15万円の費用が見込まれる。共催研修会ではその1/2がOCOAの負担となるが、その負担額をメーカーが座長謝金として補填する案について、座長からOCOA口座に還元する案、座長とOCOAに分けて入金する案が提示された。しかし座長個人の税務処理が必要となる問題があり、具体的方法について早急に経理委員会で審議することとなつた。

7、「Q&A ハンドブック交通事故診療（第 6 版）B5 版 484 頁」のご案内

堀口副会長

上記 6 回目の改訂版（弁護士対応や後遺症診断記載など内容充実）について、JCOA から広報があり、20 部以上をまとめての購入には 20% 値引きが受けられる（1 冊 5,104 円）。OCOA 会員での一括購入、メールリングや研修会での広報で協力すること、が承認された。

8、【大塚製薬 田中】メール広告

堀口副会長

第 33 回 JCOA 学術集会（オンライン開催）での共催セミナーについて、大塚製薬からメール広告依頼があり、審議の上承認された。

9、大阪症例検討委員会委員の増員の件

長谷川会長

大島前理事辞任後、神藤、岸本、古瀬、山口（敬称略）の 4 名が OCOA からの大阪症例検討会委員だったが、大阪症例検討委員会より 1 名の増員希望があり、小坂理也理事が新委員に推薦され本人承諾を得て承認された。もって、同委員会 15 名の委員のうち OCOA 理事が 5 名となつた。

10、その他

長谷川会長

OCOA WEB 研修会の全国的な広報展開にメーカー側も関心を寄せており、OCOA でのメール広告依頼もさらに見込まれる。収益の点からも、十分検討に値する。

報告事項

1、会員動態（前回の理事会以降）

白木副会長

令和2年6月以降の会員動態が報告された。

・令和2年9月5日 現在

令和2年6月以降 新入会4名 退会1名 (OCOA特別会員 堀木篤先生ご逝去)

合計540名 正会員 514名

特別会員9名 顧問(現役教授)7名 特別顧問1名 名誉顧問(元教授等)10名

・東 隆司、桐野 義則、大西 雅之、水沢 慶一(敬称略) 4名の新入会があった。

2、令和2年度第2回医療システム委員会

6/24・T.V. 宮崎理事

【理事会審議付帯事項】

1、鍼灸柔整新聞料金について

Web購読料3,000円/年についてJCOAに負担してもらうよう要望があり承認された。

【協議、検討事項】

・委員長、副委員長選出 委員長 福島県 吉田政史先生

・代替医療、統合医療の研究、現状の把握と対策

今後は日本統合医療学会の動向も注視する必要があることが確認された。

同会は整形外科の脅威になる可能性があるため、関心をもって取り組むべきとの指摘があり、JCOAシンポジウムでも今後取り上げていくこと、が提案された。

・スクールトレーナー制度についての検討

JCOAが運動器の健康、日本協会から脱退して情報が入らなくなり、新たな動きは日整会理事を通じて得るしかない状況である。実際にはJCOAが脱退した影響は大きく、現在はこの制度はあまり活動していない。

・医療システム委員会内担当 医療類似行為に係る健康被害報告 (宮崎浩副委員長)

違反広告問題 (前中孝文アドバイザー) など

・療養費検討専門委員会 (第17回、令和2年4月22日) についての報告

3、令和2年度第3回医療システム委員会

8/3・T.V. 宮崎理事

【理事会審議付帯事項】

1. 柔道整復療養費審査委員間で情報共有ができ、日々の審査に役立つことができるメーリングリストを作成することが理事会で承認された。

(1) 調査から漏れている審査委員もあり再度調査の上でメーリングリストを作成する。

（2）情報発信のために医療システム委員会構成者をメーリングリストに含める。

【協議、検討事項】（本法人会員の敬称は略しています）

- ・第33回JCOA学術集会（愛知どまんなか学会）の企画について検討。
 - シンポジウム「疑問だらけの施術同意書を検討する」
- ・委員会担当 医業類似行為に係る健康被害等報告（宮崎浩）違法広告問題（前中孝文）
- ・委員会内小グループ（案） 藤野圭司アドバイザーの意見を参考にして作成。
 - （1）代替、統合医療（長谷川ほか） （2）柔道整復療養審査委員
 - （3）柔整師JCOAと指針（前中、宮崎ほか）
 - （4）スクールトレーナー制度についての検討（長谷川ほか）
- ・一般人向け小冊子について 柔整との付き合い方 ver.2.0 作成中。

4、第1回雑誌委員会

7/13・T.V. 山口理事

1 委員長選出について、宮島茂夫委員を委員長に選出した。

2 理事長諮問事項について

- ・査読、校正された後に委員長が最終チェックをしていたが、委員長の負担が大きすぎるため代わりに他の委員が最終チェックを行うこととし、委員長は全体の流れを監視する役とした。
- ・査読委員会については、その所属が学術研修委員会から本委員会に移ったため、査読委員会内規について再度検討、訂正等を行うこととなった。査読委員会開催については、査読方法などに差ができるないように学術委員会、本委員会合同で必要な時期に開催することとした。

3 委員の補充について

- ・委員に欠員が生じたため補充を行うこととなった。また、論文の校正等人員が必要なため理事会に増員を要望した。

4 今年度学術集会における論文投稿について

- ・今回オンライン開催の学術集会発表演題論文の投稿については、規定、提出方法については昨年と同様としオンラインで受け付けることとした。締め切り時期、投稿方法についてのアナウンスは学術集会担当県と相談することとした。

5 雑誌117号について

- ・12月末としていた発行予定を2021年1、2月とする方針に変更した。

6 第116号 M11-1論文のCT画像に個人の名前が残っていた問題について

- ・JCOAwебページ、国際医学情報センターに依頼し、差し替え予定。
- ・J-STAGEへの訂正は国際医学情報センターに依頼すみ。
- ・紙媒体については、M11-1論文のみ、修正後印刷しなおし、残っている116号に差し替えるか、M11-1の別冊 修正し作成する等、検討を要する。

5、令和2年度第2回運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会

8/2・T.V. 吉村理事

- ・今回から、運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会と無床診WGがひとつの委員会となった。

委員会決議事項：

1. 委員長及び副委員長の選任について

委員長 品田尚孝先生 副委員長 吉村弘治先生 が選任された。

2. 令和2・3年度理事長諮問事項について

- (1) 令和4年度診療報酬と令和3年度介護報酬の改定に向けて、診療報酬・介護報酬改定要望事項の検討

- ・脳血管疾患等リハビリテーションI・IIでは「運動量増加機器加算」（月に1回150点）が新設された。運動器リハビリテーションもこれに準じた要望を提出する。

①運動器リハビリテーション前の消炎鎮痛等処置の加算では、要望が通らないため、例えば麻痺の患者に対して行うなどの対象疾患を考慮する。

②田辺秀樹アドバイザーからの介護保険報酬関連についての提案、が報告された。

本委員会から次期介護保険報酬改定に向けて提案を出し、日医の社会保険診療報酬委員会委員である田辺秀樹アドバイザーから日医を通じて政府に要望を提出する。

- ・要介護者への送迎しない場合の減算の撤廃

(同日に医療行為を行った場合、その時点で介護が終了し、送迎加算が減算される)

- ・体制強化加算は現在、専従医師2名であるが、これを選任へ変更を要望する。

- (2) 運動器リハビリテーションの評価法にロコモ25・ロコモ度の使用を認めてもらう。

- (3) 医業の継承に関する調査と分析

開業医の平均年齢が約60歳であり、今後の継承が問題となる。

6、第1回IT戦略委員会

7/20・T.V. 白木副会長

1. 委員会でのテレビ会議の拡大・普及の検討・推進について

・Meeting Plazaが2022年3月31日でサービス終了となるとのことで、後継のテレビ会議システムについて検討する。ZOOM等選択肢について。

- ・TV会議とWeb会議、呼称について

2. 令和2年度の本委員会開催日について

第2回：令和2年10月26日 テレビ会議 第3回：令和3年03月08日 テレビ会議

7、令和2年度第1回社会保険等検討委員会

7/26・東京 神藤理事

- ・対面式で行われた。・小児運動器疾患管理料の適応年齢拡大が認められた。

2年後の改定は厳しいことが予想され社会保険等検討委員会の役割がますます重要。

8、令和2年度 JCOA 保険審査委員会 9/12・オンライン（予定） 神藤理事

・事前アンケート（審査上検討を要する事案）を実施済（別資料3、4）

9、第1回災害医療チーム検討委員会 7/18・T.V. 神藤理事

次回 JCOA 理事会で各 COA に災害対応委員会設置の有無及び実務連絡担当者名の JCOA 事務局への報告を依頼し、各ブロック内の実務連絡担当連携推進を図る。

【決議事項】

1. (委員長) 神藤佳孝委員（副委員長）荒木邦公委員を選任
2. 令和2・3年度理事長諮問事項（災害医療チーム検討委員会）についての提案
 - (1) 多様化している大災害（地震、風水害、新型コロナ感染症）の分類・整理、対策
 - (2) コロナ禍での災害時対応勉強会（JCOADiT 研修会など）開催について検討する。
 - (3) 災害時の必要機器や備品の検討 災害派遣チーム装備のほか、会員医療機関における災害時に必要な備品の検討も行う。（ブラックアウトに対する発電機、照明等）
 - (4) JCOADiT の登録者数 現在の登録者数（67名）の増員に向けた検討を行う。
 - (5) 災害発生時の会員医療機関の経済的被害状況調査（アンケート、レセプト）の検討
 - (6) 学術集会で、災害シンポ等の企画を行う。
3. 第33回 JCOA 学術集会（愛知）委員会企画パネルディスカッションについてオンライン開催。目指してきたのは JCOA の本部から被災地へのチーム派遣であったが、今後は JCOA の各ブロックや都道府県 COA 内に災害に対応できる組織作りを目指す。それらの組織では、支援と受援の両方に対応できる様な体制を整える。
4. 第4回 JCOA 災害医療チーム研修会は Web 配信による座学形式の開催も検討
5. 令和2年度7月豪雨について
 - ・熊本県、福岡県、鹿児島県・長崎県・宮崎県・岐阜県の被災会員医療機関の報告
 - ・EMIS を利用しての情報収集と発信について、各医療機関の登録を勧める意見が出た。
 - ・被災会員に対する見舞金の支給やその時期についての質問があり、本委員会から本部にあげられた被害内容をもとに経理委員会が支給基準から決定する、との説明があった。
 - ・自然災害が発生した後の被害状況に関する情報収集は事務局がメディアから、次に EMIS 等を用いて被害情報等を収集。また、実務連絡担当者が COA 内の情報を収集し、事務局に報告する。事務局に収集された情報は、委員会の ML で順次委員会内で共有。
6. JCOA 災害医療チーム登録者に関して、大阪 COA や病院部会からの新規登録が増え、この流れを維持拡大していく為に、今後は登録会員を対象とした研修会の開催も検討する。
自身が JCOADiT 登録者である自覚の無い場合があり既登録会員への広報も必要である。
7. 各都道府県 COA における災害対応の委員会及び実務連絡担当者名簿
委員会の未設置や連絡担当者不在の COA があり委員会として施策を講ずるよう指示。
この施策を進めるためのワーキンググループ設置の必要性に関しても検討する。

- 8、JCOADiT 使用ビブスの保管場所について、一括保管で散佚防止するため、関東・中部・関西など委員会担当理事の所属医療機関に分散して保管する案を検討する。
- 9、ブロック内の COA 間、および隣接する COA における災害時の連携について
- ・現状では行われていない。今後実施に向けた検討を要する、との指摘があった。
 - ・ブロック内をまとめるキーパーソンが必要との意見があった。
 - ・ブロック会議の際に、災害時連携に関するブロック内での対応について議題にする
 - ・委員会未設置や実務連絡担当者不在の COA に対し現状の確認と名簿の最新化の必要性
- 10、令和 2 年度 7 月豪雨の被害情報提供依頼と、コロナ禍による受診抑制の報告。
- ・会員に対するレセプト調査に関して、新井理事長からコロナ禍による受診抑制に関する会員へのレセプト調査は有用で調査に裏付けされたデータは貴重であった事、医療機関の具体的な収益減少の内訳が明確となり既に国会議員や日本医師会にも情報提供されているとの報告があり、特に日本医師会において当会からの資料の提供まではコロナ禍での整形外科医療機関への影響は過少評価されていたので大きなインパクトであった、と報告。

10、JCOA 令和 2 年度第 1 回総務委員会

8/1・T.V. 邊見理事

【審議事項】

1. 委員長に金藤直樹委員、副委員長に廣瀬大祐委員・邊見俊一委員が選任された。
2. JCOA 生命共済制度について新入会数より 75 歳の自動退会などの数が多い状況。
3. JCOA 会報について。会報第 26 号、会報第 27 号、会報第 28 号の報告。
4. JCOA ニュースについて 委員会報告で小項目を「・」で表記した箇所があったが、今後は a) b) 表記。編集委員会で議論された書式に関する決定事項を整理し各委員に配布。
5. 「運動器の 10 年・骨と関節の日」テーマはロコモティブシンドロームと新判断基準。
6. 所得補償保険について加入者は 20 名ほど、募集期間が短く新規入会者がいない。
7. 組織拡大について、具体的な方法については今後検討していく。

現在 5849 名の会員、6500 名を目標に組織拡大 (OCOA 方式で各 COA が新入会に際し JCOA にも入会を勧める → 各 COA 定款を確認などの提案、があった)

11、リクルート委員会

邊見理事

① リクルート委員会設置後の入会者変化

新規入会者数 2015 年 5 名 2016 年 12 名 2017 年 6 名 (この後リクルート委員会設置)
2018 年 40 名 2019 年 31 名 2020 年 11 名 (1~8 月)

令和 2 年 6 月以降、新入会者 4 名 (阪大 1 名、大阪市大 1 名、奈良医大 1 名、兵庫医大 1 名)。

労災・府医の新規開業リストを含めて、リストのアップデートを行う。

② 整形外科新規開業者講習会 (案)

新規開業予定の病院勤務医および新規開業医に対し実務的（保険・自賠・労災診療、税務など）及びコンサル的（開業場所、資金、リハビリテーション、在宅医療、人事など）な内容の研修会を OCOA 主催開催予定（新型コロナ感染症対応で web 研修を相談中）。

12、令和2年度第3回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会及び 整形外科医政協議会執行委員会 8/30・T.V. 貴島理事

【審議事項】

- ・労働基準局からの「放射線業務に関する自主点検の実施について」の情報提供
- ・生化学工業 K.K. よりアルツ関節注 25mg（アンプル製剤）供給停止につき審議のお願いがあり理事会で承認。今後「薬価基準削除願」を厚生労働省に提出される予定。
- ・5年毎の第3回会員基本データ調査の実施について、種々の調査項目追加が承認。
- ・「Q&A ハンドブック交通事故診療（第6版）」の各 COA で拡販協力依頼について承認。後遺障害診断書の作成や弁護士介入事項増加など、多数項目で改定あり。
- ・災害実務連絡担当者について（OCOA は小林正之副会長に担当依頼予定）
- ・産業医委員会アドバイザーの交代について、京都 高橋 真 先生 が承認された。
- ・日本医学会連合「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ」への参画に JCOA（新井貞男理事長）、SLOK（藤野圭司顧問）の申請を承認。
- ・学会雑誌編集委員会委員の増員について次回理事会までに4~5名の推薦を予定。

【各種報告事項】

- ・会員基本調査特別委員会委員として近畿ブロックで OCOA 調子和則理事を推薦し承認。
- ・COIVD-19 に関するアンケートのまとめについて
 - 1) 外来患者数は 99.3% の施設で減少（3割以上減少 76.8%、4割以上減少 39.1%、5割以上減少 11%）
 - 2) 外来患者数の 3割以上の減少は、特定警戒都道府県 86.7%、その他の県 63.1%
 - 3) 外来患者数減少は病院より診療所の方が大きく四分の三以上が 3割減少。
 - 4) レセプトベースの減少も顕著であり 4月に 2割以上診療報酬が減少した施設は 72%、3割以上減少は 37%、4割以上減少は 9%、この傾向は 5月も持続。
 - 5) 初診患者数は 4~5 月で前年比 2割以上の減少が 80%
 - 6) 運動器リハ患者数が前年比 2割以上の減少した施設が 4月で 76%、5月で 70%
 - 7) 4~5 月の外来診療報酬は特定警戒都道府県で有意に減少が大きく、回復せず。
 - 8) 98.1% の施設で、COVID-19 に対する外来診療対策の対応がなされていた。
- ・令和2・3年度各種委員会委員長
OCOA より 4名 学会雑誌編集委員長（宮島理事）SLOC（宮田理事）
災害医療チーム検討（神藤理事）利益相反管理（堀口理事）

【各委員会等報告事項】 20 各委員会、1 ワーキンググループ、より報告。ほぼ TV 会議。

【日整会報告事項】 1. 令和2年度全国整形外科保険審査委員会議について
2. オンラインで実施される日整会教育研修単位について

1 3、難治性骨疾患 WEB セミナー

8/26・WEB 堀口副会長

8月 26 日の協和キリン(株)主催セミナーを club 0COA メールで広報 (5 万円収益)。

1 4、研修会実施報告

堀口副会長

大阪臨床整形外科医会 WEB 研修会 (令和 2 年 7 月 18 日) 共催エーザイ (株)

WEB 研修会を初めて試験的に実施。申し込み、入室、講演、e-testing、に問題点。

1 5、会長報告

長谷川会長

大阪府医師会学校医部会常任委員推薦

2020/6/25 貴島浩二 (再)

1、大阪府医師会健康スポーツ医学委員会委員推薦 2020/7/9 小林正之 (再)

2、大阪府医師会「事故調支援委員会」委員 2020/7/3 小林正之 (再)

3、大阪府医師会医学会評議員 2020/8/7 栗本一孝、早石雅宥、森本清一 (再)

4、JCOA より骨と関節の日行事の活動予定→中止と報告 2020/8/8

5、大阪府医師会会員名簿に役員名簿掲載依頼 → 2020/8/22 承諾

6、JCOA 会員基本調査特別委員会委員推薦 (近畿ブロック) 2020/6/16 調子和則 (新)

7、大阪府医師会より「大阪府鍼灸マッサージ師会」生涯研修会講師推薦依頼

2020/8/25 大阪急性期総合医療センター整形外科診療主任 前中貴博先生を推薦

(本法人役員の敬称は略しています)

1 6、その他

長谷川会長

令和 2 年 10 月 11 日大阪トライアスロンに荻野担当理事より森泰壽先生に出務依頼を行ひ快諾された。

この議事録は、定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 2 年 9 月 5 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長 長谷川 利雄



監事 松矢 浩司



監事 黒田 晃司



監事 栗本 一孝

